



代々木公園・花の小径(こみち)

## 令和3年度各会計予算額

区分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	増減率
一般会計	994億4,900万0千円	1,052億4,900万0千円	△5.5%
国民健康保険事業会計	239億8,850万1千円	246億2,317万2千円	△2.6%
介護保険事業会計	155億9,306万6千円	160億4,327万2千円	△2.8%
後期高齢者医療事業会計	59億7,733万0千円	59億714万7千円	1.2%
計	1,450億789万7千円	1,518億2,259万1千円	△4.5%

## 令和3年度各会計予算を可決

総額は1450億789万7千円(前年度比4.5%減)

渋谷区新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例などを可決

令和三年第一回定例会は二月二十四日から三月二十五日までの三十日間開かれました。本会議では初日に二人の議員が、二日目には三人の議員がそれぞれ代表として一般質問を行い、三日目には七人の議員が個人として一般質問を行いました。

二月二十四日の本会議では教育委員会教育長の任命に同意し、人権擁護委員の候補者三人について支障ない旨答申しました。

三月二十五日、最終日の本会議では、渋谷区財産価格審議会条例など条例十二件、令和二年度一般会計補正予算一件、令和三年度一般会計及び三特別会計の当初予算四件、神宮前三丁目障がい者施設の指定管理者の指定一件を可決、議員提出議案六件を否決し、委員会提出議案一件を可決しました。このほか、請願四件を不採択とし、意見書一件を決定しました。

## 選択的夫婦別姓制度に関する審議を求める意見書

最高裁判所は平成27年12月16日、夫婦同氏制自体は合憲と判断したが、夫婦同氏制のあり方については、「国会で論ぜられ、判断されるべき事柄にほかならない」と国会に委ねている。しかし、5年が経過した現在も、国会審議は十分に進んでおらず、いわゆる選択的夫婦別姓を求める訴訟が相次いで提起されている。

内閣府が公表した世論調査の結果によれば、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる「選択的夫婦別姓制度」の導入に賛成・容認と答えた国民が約7割となり、反対を大きく上回っている。

こうした現状に鑑みると、国の責務のもと、夫婦の氏のあるり方について法的な議論を進めることは、重要な意義を持つと考える。

よって、渋谷区議会は国会及び政府に対し、選択的夫婦別姓に関する法制度について、審議を推進するよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和3年3月25日

渋谷区議会議長名

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
法務大臣  
女性活躍担当大臣  
内閣府特命担当大臣(男女共同参画)

あて

### 次回定例会のお知らせ

●令和三年第二回定例会は、六月二日から開かれる予定です  
本会議は、通常、初日と二日目、三日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。



一般質問(代表)

令和3年度予算案、ワクチン接種体制等8点について伺う



自由民主党  
丸山 高司 議員

新年度当初予算案について

**問** ①予算案の特徴と本区独自のコロナ対策は。②コロナ禍の影響も考えられる渋谷区基本構想の実現への取組は。

**区長** ①幅広いコロナ対策に重点を置きつつ、その他事業はサービス水準を維持し、区政各般の課題に広く財源を充てる方針で編成。歳入は財政調整基金を取り崩すが過剰に依存しないよう留意。次年度のコロナ対策は、非接触型社会の実現の加速と事業者向けに補助金・助成金自動診断システムの導入等。②「新しい生活様式」に沿った先進的な区民サービスの導入を進め、実施計画を遅滞させず進める。

新型コロナウイルスワクチン接種体制について

**問** ①ロードマップは。②集団接種会場の予定は。工夫された接種手順の取組はあるか。  
**区長** ①国が定める接種順位等に従い、区ニュースでの情

報掲載やコールセンター設置、三月下旬には六十五歳以上の方に接種券を郵送できるよう準備。②会場は調整中。事前予約制でワクチン接種専用の予約サイトを設置。高齢者の方にはコールセンターでの電話予約や、インターネット予約が不慣れな方をお手伝いする体制を区内公共施設で確保。

福祉について

**問** ①高齢者デジタルデバイス解消事業の進捗、目指すべき姿は。②今後の介護保険事業の見直しを含め第八期介護保険料改定についての見解は。  
**区長** ①三月下旬までに契約候補者を決定予定。事業の募集時期は五月頃予定。スマートフォン未保有の希望者を対象とし、単身高齢者や老老世帯へ優先的に貸与を検討。高齢者の誰もがスマートフォンを生活必需品として活用する社会を目指す。②新型コロナウイルスによる高齢者の生活や経済への影響も考慮し「介護給付費準備基金」等の活用により月額基準額の維持、一部所得段階の負担割合引下げ等を実施。第九期以降も急激な上昇がないよう計画的に運用する。

子育てについて

**問** ①待機児童ゼロの見通し、保育の質向上等の今後の取組は。②渋谷区子育てネウボラにおける虐待予防と職員の資質向上について今後の取組は。  
**区長** ①新年度の入園状況は現時点で全クラスに昨年度以上の空きが発生。保育施設新設は一つの山を越えたと認識。休日保育の拡充、「渋谷区就学前教育プログラム」実践等により質向上を図る。②虐待リスクにつながる要因のある

家庭を早期に支援する予防的支援チームを都が区市町村に設置する事業への参加も検討。児童相談所のサテライトオフィスを設置し、連携してケースワークを行うことで区職員の資質向上に有効との報告もあり、設置も視野に入れる。

防災について

**問** (仮称)笹塚防災職員住宅整備による防災力の向上は。  
**区長** 災害時に情報収集や初期対応を行う職員数は約一・五倍に増強。一部職員は地域の避難所に速やかに参集し、運営を担うことにより更なる地域の防災力向上を図る。

まちづくりについて

**問** ①ササハタハツまちラボが持続可能な運営をするための仕組みづくりの検討状況と活動拠点の配置計画具体化の展望は。②本町まちづくりにかける区長の思いを伺う。  
**区長** ①公共空間など様々な場所を活用しササハタハツエリアの魅力を創出する事業展開により持続可能な運営へとつなげることを検討。活動拠点はこのエリアで都市開発事業を進める予定の民間企業に協力を求める。②本町地区防災都市づくりプロジェクトをインに掲げたプロジェクトを実行し、地域の皆様と共に企業との連携等、様々な手法を用いて本町の防災力を強化し、魅力あるまちづくりを推進。

教育について

**問** ①白根記念渋谷区郷土博物館・文学館と松濤美術館を一体化し運営する意図と職員体制は。②学校施設の未来像と目指す教育行政の意図や決意を。③渋谷本町学園第二グ

ラウンド体育館内の保育・幼児教育施設の運営形態、特色は。④「就学前教育プログラム」の積極的利活用には教育委員会があらゆる園種の運営に積極的に関与すべき。⑤本町学園みどりの丘の活用を区長、教育長に伺う。

**区長** ①普及事業、広報活動等を一体的運営に改め、更に質の高い文化・芸術を区から生み出していく。白根所属の学芸員を中心とした職員を、松濤美術館を運営する改組後の渋谷区文化・芸術振興財団に派遣。③保育所型認定こども園とする予定。休日保育や一時保育の実施、子育てひろば、子育て相談など子育て世帯を広く支える施設とする。⑤学校現場の状況も含め住民に理解を得て、教室確保のため学校施設を増設する。都市公園廃止の手続は適切に対応。

**教育長** ②新しい時代の学び実現のため、これまでの学びの概念を見直し学校施設を含めた教育そのものを変える視点で学校施設長寿命化計画を策定。④次年度「渋谷区立幼稚園の在り方検討委員会(仮



中学校の部活動の様子

称)で検討。⑤放課後クラブ室や学校図書室移転を予定。

スポーツ支援に関する法人設立について

**問** 子どもたちに体を動かす機会の提供と教員の働き方改革推進のため、部活動を運営・企画、実践する法人を区独自に設立する考えはないか。  
**区長** 来年度早い時期に法人化した組織をつくりたい。

当初予算とコロナ対策、福祉、教育、財政等7点を伺う



シブヤ笑顔  
田中 匠身 議員

令和3年度当初予算と新型コロナウイルス対策について

**問** ①令和三年度支出バランスのポイント。②社会変革への対応を今後はどうつなげるか。③検査体制強化と緊急一時預かりを。ワクチン接種計画は。④基金の活用拡大を。  
**区長** ①先進的なシステム構築が財務基盤の強化につながる好循環を期待。②新技術の社会実装を進め複雑化する地域課題を解決。③検査センターのほか医師会内に発熱外来連携窓口設置。緊急一時預かりは介護施設で実施し、児童養護施設は都と連携し調整。集団接種、個別接種に出張接

種も予定。④最小限の活用。

高齢者福祉について

**問** ①第八期計画における指標とプロセス評価のあり方は。②要介護度改善インセンティブの導入を。③生活期のリハビリやサービスの受皿として「通いの場」の活用を。④お手伝い活動が各地で生まれる仕組みづくりと活動補助を。  
**区長** ①PDCAを活用し、プロセス評価も行う。②国の動向を注視。③有効な選択肢として普及展開を図る。④地域福祉計画で議論を進める。

障がい者福祉について

**問** ①手話言語と情報コミュニケーションを保障する条例の実効施策は。②バリアフリーマップの作成を。③ソーシャルファームの育成支援を。  
**区長** ①機器やハンドブックの活用を検討。②モデル地区を選定し取り組む。③就労支援拡大後の課題として検討。

区財政の向上施策について

**問** ①渋谷未来デザインに営業部隊を設置しハウスエージエンシーに。②バーチャル住民票の活用と電子ポイント導入を。③成果連動型の委託を。  
**区長** ①一つのアイデアとして参考にする。②運営事業者と研究し、ポイント制度も検討。③事業の費用対効果を向上させる取組を研究。

まちづくりについて

**問** ①町会掲示板のデジタルサイネージ化を。②緑道整備に評価指標の導入や成果連動型の指定管理を。③ササハタハツ推進に三年間のセッションの成果活用を。④目指すスマートシティモデルは。⑤オ

〈笹塚・幡ヶ谷・初台エリアのまちづくり「ササハタハツ会議」



産業振興について

**問** ①イノベーション・フォー・ニューノーマルで採択した事業にプロジェクトマネージャーの設置を。今後の展開は。②シブデックの展開は。③スタートアップピザをはじめグローバル拠点都市推進のための規制緩和の働きかけを。  
**区長** ①組織を強化し、企業との連携や副業人材の活用でより良いプログラムにする。②事業環境整備、実証実験で連携する。SIBも検討する。③渋谷での一年間のスタートアップピザ発給を進め、継続的に規制緩和を働きかける。



教育について

**問** ①教育ビッグデータの導入により、学校現場の負担軽減ができるのでは。定性的データの扱いは。不登校の子供たちへの活用を。②ICT教育推進校にフューチャールームの導入を。③コミュニティ・スクールにおいて学校運営協議会で学校課題を解決できる体制を。教育委員会への要望の様式作成を。地域コードイネーターの全校配置を。

**教育長** ①教育委員会が直接、収集データを分析できるようになり、学校の業務負担軽減につながる。数値化できない

新型コロナウイルス感染症対策等6点について伺う



党 明 議員  
沢島 英隆

新型コロナウイルス感染症対策について

**問** ①ワクチン接種事業内容及び効果や副反応等の情報提供は。②ハルスオキシメーターの活用は。③高齢者、障がい者施設でのPCR検査実施と施設運営継続支援は。④図書館の消毒機詳細と運用は。

**区長** ①接種券発行など準備を着実に進め、情報は区ニュースや区ホームページに掲載

定性的データとの組合せにより、教職員の指導改善が図られる。不登校児童生徒の状況を多面的に分析し活用。②今後検討。③地域学校協働本部を順次立ち上げ課題解決を支援。様式は検討。コードイネーターは全校に配置する。

**用語解説** ※PDCA事業を継続的に進める際に、計画・実行・評価・改善とつながる一連の行動。

**用語解説** ※S-BIIソーシャルインパクトボンドのこと。行政の成果運動型委託に民間資金の活用を組み合わせた官民連携モデル。

しこるセンターで対応。②自宅療養者に貸し出し、有効に活用。③PCR検査支援事業継続の予算を計上し準備。介護職員の応援協定締結に向け準備、障がい者施設は都の運営継続支援が受けられる体制を整える。④紫外線を照射し殺菌、来年度四月から導入。

子育て支援・教育について

**問** ①八月開設の子育てネウボラでの支援内容は。子育て支援センターをネウボラのサテライト施設に。四歳・五歳児の発育・発達状況把握を。②待機児童ゼロの所見を。③中学生以上にショートステイ実施を。④離婚する父母が子どもの養育や心理的影響を学ぶ講座の開催を。⑤学校図書館システム導入状況と効果は。

**区長** ①相談の場として子育てを支援。子育て支援研修受講職員配置で体制強化。子ども発達相談センターの巡回訪問相談支援事業で対応。②様々な手法で三十七園を整備。今後施設整備やサービスを拡

充。③区内児童養護施設で実施したい。④今後の研究課題。

**教育長** ⑤年度内導入に向け工事、設定を行う。検索、貸出、返却、蔵書管理が容易に。

福祉・健康について

**問** ①「渋谷区版地域共生社会」実現の進捗、地域福祉計画との連携及び計画内容は。②デジタルデビュー大使任命と活用支援員へのデジタルネイティブ世代活用は。③フレイル予防で「通いの場等活動支援事業」と「地域リハビリテーション活動支援事業」の内容は。オンラインで予防事業を。④「認知症なっても展」開催とケアンシリーズ映画上映・活用の進捗は。⑤情報のバリアフリー化推進と窓口サービスのバリアフリー化は。

**区長** ①庁内検討会を設置、地域福祉計画に反映、策定委員会と連携させ、令和三年六月以降計三回の委員会とパブリックコメント実施後令和四年三月に計画を策定。②任命の方で調整中。S-SAP協定締結区内大学の学生や若

い世代など広く募集。③フレイル予防に取り組む活動を支援する事業。「フレイル予防推進員」が「通いの場」や各種予防事業の会場等でアドバイスや相談等を行う事業。並行して事業を進める。「かなみの杜・渋谷」の運動講座は会場実施とオンライン配信を予定。④三月十八日から二十一日までオンライン開催。上映実施に向け準備中。⑤スマートフォンで読み取る音声コードを活用し利便性を向上。タブレット端末の遠隔手話通訳を窓口相談活用に向け検討。

防災・防犯について

**問** ①災害時情報配信サービスの内容は。②避難所運営委員会設置の令和三年度推進は。避難所運営基本マニュアル(試行案)の要配慮者対策記載内容再検討を。避難所運営に係る方々へ理解啓発の推進を。③防犯カメラ設置効果とプレートに耐久性あるものに。

**区長** ①固定電話や携帯電話へ自動的に電話をかけ避難情報や音声で伝える。来年度申込み開始に向け推進。②組織化や活動の支援を重点施策として推進。例示以外を追記する方向。「障がい者サポートカード」の作成推進。③区内犯罪発生件数減少に効果。耐久性の高い素材活用を検討。

住宅政策・環境等について

**問** ①新たな住宅マスタープラン策定の進捗と新年度の取組は。②落書き対策プロジェクトの内容及び三年計画以降の対応は。③美化活動サポート事業の進め方は。④スマートシティ推進事業の詳細は。

**区長** ①意見交換会、パブリックコメントを実施。高齢者

基金を活用しコロナ禍の区民の命とくらしを守る対策を



日本共産党  
五十嵐千代子 議員

緊急コロナ対策について

**問** ①障がい者施設・保育園・幼稚園・学校の職員と利用者定期的にPCR検査と感染集積地など無症状者の検査を。②国に医療機関と従事者に減収補填と慰労金支給を求め区も支援を。都立広尾病院の独法化中止を都に求めよ。③国に持続化給付金や家賃支援給付金の再支給と協力金の改善を求め、区は家賃等助成の実施を。④住民税非課税者に生活支援金の支給を。⑤本人同意がない生活保護扶養照会はやめ、区ホームページで

の民間賃貸住宅入居促進事業に取り組む。②(仮称)落書き問い合わせセンターを開設し消去を行う。再度の落書きにも対応。③来年度ごみ拾い活動支援のためのSNSを導入。④来年度「スマートシティ推進に向けた全体構想」策定を行い総合的な指針を示す。

**持続可能な財政運営について**

**問** リーマンショック時の区財政状況推移と区政運営への影響は。今回のコロナ禍の財

政危機をどう乗り越えるのか。①税金回収に八年を要し減収総額は三百二十億円に及ぶが、事業や体制の徹底的見直しで財政難を乗り切った。現下の難局を乗り越えるのに座して待つことなく新しい世界に向かい行動あるのみ。

**用語解説** ※ハルスオキシメーターは動脈血酸素飽和度と脈拍数を、採血することなく指先などに光をあてることにより測定する装置。

生活保護内容等を周知すべき。

**区長** ①区障がい者施設は都の制度を活用し実施。スクリーニングの実施は今後の課題。②その考えはない。③国や都の支援策の効果を注視し区の支援策を検討。④その考えはない。⑤厚生労働省の運用指針が示された際に対応。制度の周知内容と併せ検討中。

**中小企業の営業を守り高齢者への負担増やめよ**

**問** ①区民の切実な声への応えは。基金の活用で中小業者の営業継続支援に独自策を。②高齢者の負担増と千駄ヶ谷敬老館の民間委託は中止を。③保健師など大幅増員を。

**区長** ①今の施策を活用し継続支援。特別融資を延長し引き続き支援。基金活用の考えはない。②高齢者の負担増は事業の継続性や応益負担の観点から決定。中止の考えはない。③必要な体制は既に確保。

国民健康保険料値上げ中止を

**問** ①国・都に財政支援を求め、区の繰入金を増やし国保料値上げをなくすべき。②子どもの均等割をなくすべき。

**区長** ①考えていない。②引

き続き区長会で議論するが区独自で行う考えはない。

介護保険制度と高齢者福祉について

**問** ①国に介護事業所への支援金と従事者の処遇改善を求め、区で支援金と慰労金の支給を。②幡ヶ谷都営住宅跡地代々木二・三丁目の国有地等を活用し特養ホーム増設を。施設入所者の負担増の中止を国に求めよ。

**区長** ①その考えはない。②多様な手法を用いて整備を検討。中止を求める考えはない。

ジェンダー平等の推進を

**問** 女性幹部を増やし、ジェンダー平等を広く区民が学ぶ機会や職員研修の実施を。

**区長** 女性管理職目標を三十%以上に引き上げ、積極的にジェンダー平等に取り組む。

東京オリンピック・パラリンピックについて

**問** 国と都にゼロベースから開催の再検討を求めよ。

**区長** 求める考えはない。



特別養護老人ホームが  
入るかなみの杜・渋谷



## 健康(新型コロナウイルス感染症対策)等5点について伺う



立憲民主党  
治田 学 議員

### 健康について

**問** ①コロナワクチン接種予約体制は。②使用期限があるワクチンのキャンセル時管理は。③副反応の公表は。④教職員の基礎疾患対応は。⑤高齢者、障がい者福祉施設のオンライン面会環境整備補助を。

**区長** ①専用予約サイトとコールセンターの電話予約。十分な容量と人員確保。②今後検討。③事前周知と国の情報公表。⑤都が既の実施。

**教育長** ④報告するよう周知。

### 教育について

**問** ①教育ビッグデータの蓄積内容と活用は。データ管理等は教職員に負担では。②ICT校務システム導入は。③渋谷区立学校の在り方検討委員会会議録に発言委員名記載と会議資料公開を。④学校給食公会計化検討を。⑤児童・生徒の学校でのセクハラ、性被害者対策に専用ダイヤル設置を。⑥学校校則見直しを。

**区長** ④現時点で考えはない。

**教育長** ①日常所見、学習コンテンツ利用記録等を集約し、生徒指導や学習指導の課題早

期発見・対応に活用。データ管理等は運用事業者が担う予定。②導入済み。③自由な意見交換等への影響を考慮。資料公開は研究する。⑤教育センターの多様な相談窓口で対応。⑥社会変化等を踏まえ必要に見直し実施を各校に周知。

### 福祉について

**問** ①高齢者デジタルデバイス解消事業でシニアクラブ支援を。②コロナ禍の生活保護申請時扶養照会を柔軟に対応を。③区ホームページに「生活保護は国民の権利」掲載を。④コロナ禍のケースワーカー訪問は。⑤ヤングケアラー区独自調査を。⑥八〇五〇問題対象世帯数は。⑦機能強化型地域包括支援センターの相談窓口設置までの相談体制は。

**区長** ①デジタル活用支援員で対応。②国の指針が示された次第対応。③検討。④最小限実施。⑤予定はない。⑥把握できていない。⑦地域包括支援センター等を中心に対応。

### 防災・環境について

**問** ①避難行動要支援者の避難支援プラン整備率向上を。

②羽田問題の特別区長会での発言や国交省とのやり取りは。

**区長** ①法改正を視野に向上を目指す。②昨年八月特別区長会から国、都に要望。九月に国交省に要望。二月二十日に国交省に「羽田空港の機能強化に関する要望」を行った。

### ササハタハツについて

**問** ①ササハタハツプロジェクト事業者とデザイナー田根剛氏の決定過程は。②区長は選挙公約の代々木公園B地区スタジアム構想で田根氏デザインの案を提案したが無償か。

## 一般質問(個人)

## 今年度から令和3年度の区政運営について



れいわ渋谷  
堀切 稔 議員

### 渋谷区の企業奴隷化について

**問** ①渋谷未来デザインの新年度の新規事業について伺う。②令和元年度のスクランブルスタジアム構想の歳入歳出先について伺う。差し控えるのなら、一般社団法人は必要ない。報告させるべき。③会派の調査で宮下公園の建物延べ床面積は、平成二十七年十二月の区議会議決時から平成二十九年六月の契約締結時の間で北側、南側敷地合計一万一千平米増えていると分かった(宮下公園のホテル棟分)。

**区長** ①面積が増えたことを知ったのか伺う。平成三十年一月に知ったのなら委員、本会議に説明しなかった理由と謝罪をすべき。令和元年十月一日の都知事との意見交換において、区長は「宮下公園も実は大きく造って、下に商業施設を置き、上に公園を造るおかげで収益が上がる」と説明している。試算で三千坪増、年二十億円の賃料が三

井不動産に入る。区民へ還元し説明をすべき。三井不動産への借地料も増やすべき。

**区長** ①事業計画の作成を進めていると聞いている。②信頼関係維持等の観点から公表は差し控えたいとのこと。現在コロナ禍の状況で時期ではないが、検討を進める段階で説明。③変更確認は平成三十年一月。適宜説明している。

## 渋谷区役所の不都合な真実・職員の不祥事など3点を伺う



れいわ渋谷  
金子 快之 議員

### ア然！飲酒あおり運転で逮捕

**問** ①職員が飲酒あおり運転で逮捕された。大麻所持に続く粗暴事犯。なぜ隠すのか。②区長は謝罪しないのか。③管理職の重大な不祥事を耳にした。詳しく説明されたい。

**区長** ①指針に該当せず非公表。②謝罪はしない。③職員の人権に配慮して懲戒処分は非公表。単なる興味本位や、特ダネスクープのように、むやみやたらに公表したくない。

### またも定期監査で厳しい指摘

**問** ①違法な特命随意契約をなぜ口頭注意で済ませたのか。②学校の経理書類改ざんは官製談合ではないか。③無届け

ヤミ休暇は懲戒処分すべきだ。④業者選定の透明性確保は。⑤職員の法規範、理解が足りない」と監査で批判されたが。

**区長** ④ガイドラインを全庁に周知。⑤研修を心掛ける。

**教育長** ②書類に後から書きこんだ行為が監査で注意された。③休暇届に印漏れや添付書類が不足。学校を指導する。

**代表監査委員** ①軽微な誤りと判断し口頭注意にとどめた。

### 宮下公園駐車場は誰のもの？

**問** 不動産登記を調べたら、所有者が「三井不動産」になっている。駐車場オープンから半年以上も経つのに、なぜ渋谷区で登記しないのか。

**区長** 登記に必要な書類が、三井不動産から提出されていない。詳しく確認して今年度中には登記する考え。

## 落書き消しについて伺う



立憲民主党  
中田 喬士 議員

### 落書き消しについて

**問** ①LINE通報すべてに対応を。場所の特定ができない事例あり、システム改善を。②(仮称)落書き問い合わせセンターの運営は。③対象地域以外の再度の落書きも随時

対応を。④地域団体へ支援を。

**区長** ①本年度はラストマイルのみ消去。撮影法の周知等を含め改善を図る。②委託運営を検討。③全区的に臨機応変に対応。④機材の提供等支援。

**用語解説** ※ラストマイルは東京二〇二〇大会期間中、観客利用指定駅と競技会場出入口とを結ぶ経路。

## 高齢者デジタルデバйд解消、地域振興について伺う



シブヤ笑顔  
森田 由紀 議員

### 高齢者デジタルデバйд解消

**問** ①スマートフォン無償貸与後のサポートは。②講座やコールセンターの体制と既所有者のサポートは。③サポート体制で区内大学との連携は。

**区長** ①新たな課題やニーズを踏まえ検討。②丁寧な対応が取れる体制を整える。手厚い支援体制の充実に取り組む。③多くの学生にデジタル活用支援員へ応募いただきたい。

### 地域振興について

**問** ①町会等のPRや加入促進の効果は。補助金を有効活用につなげる工夫は。②災害有事の町会の役割を伝える工夫や今後の取組について伺う。

**区長** ①一定の成果を得てい



と認識。町会等活動助成補助金は活用しやすくなるよう検討。②啓発事業の中で積極的に周知。地域の訓練に気軽に参加しやすい環境の醸成や仕組みづくりを推進。

## 感染症を警戒したまちづくり、その他の区政課題



鈴木 建邦 議員

### 区政課題について

**問** ①ウィズコロナという短期的なスローガンではなく、感染症を警戒したまちづくりに取り組むべき。②スポーツ部は企業連携やeスポーツ、将棋や囲碁などの頭脳スポーツも対象とするべき。③積極的疫学調査は独自に範囲を拡大すべき。④花粉症の治療支援を。⑤HPVワクチン定期接種の個別通知は。⑥带状疱疹ワクチンの啓発、助成を。⑦デジタル教科書の効果は。⑧ドリルのデジタル移行は。⑨VR(仮想現実)・AR(拡張現実)の活用は。⑩羽田空港新ルートへの苦情、要望を定期的に国に届けるべき。

**区長** ①感染症対策に十分留意し先進的な区民サービス構築と安全安心なまちづくりを進める。②部活動支援の中で、新たな分野も視野にスポーツ

振興推進。③都の検討状況注視。④その考えはない。⑤今年度、高校一年生相当の未接種者に案内送付。来年度は小学校六年生から高校一年生相当までの接種対象者に送付予定。⑥国の動向注視。⑧今後、民間企業等とも連携し研究。⑨必要に応じ国に伝えている。

**教育長** ⑦画面への書き込みや消去が簡単、拡大表示や音声読み上げ可能等の効果。移行は紙とデジタル双方の利点と欠点を見定め対応していく。

## 新型コロナウイルス感染症対策、学校について伺う



須田 賢 議員

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** ①ワクチン接種は医師会と連携を。副反応の公表、接種率向上の取組を。②発災時避難場所として民間施設活用を。③避難所の感染症対策は。④区内飲食店へのCO<sub>2</sub>測定器、パーテーション又はアルコール消毒液等の配布は。⑤配布数の追加を。

**区長** ①医師会と連携し準備中。副反応の状況は国からの情報を伝える。広報やコールセンターの相談体制等により接種率向上を図る。②区内ホ

テルと協議中。③国のガイドラインに沿って職員に訓練実施。感染対策に必要な備蓄品を各避難所に配備。来年度は避難所運営委員会支援に重点。④追加対応しながら支援していく。今年度の取組の効果等を踏まえ来年度支援を検討。

### 学校について

**問** ①三十五人学級に伴う教室不足の解決は。②学校建て替え時は高齢者施設との併設など複合型福祉施設の検討を。

**区長** ①学校施設長寿命化計画は三十五人学級を踏まえたもの。改築、改修実施までは教育委員会や学校と連携し適切に確保。②様々な整備手法を検討し、新しい時代を見据えた学校施設づくりを進める。

## すべての子どもに寄り添う教育と保育を



日本共産党  
田中 正也 議員

### 教育について

**問** ①少人数学級の評価は。区として直ちに小中学校三十五人学級を実施すべき。②学習履歴等のビッグデータ活用は。③学校施設の長期的なあり方については、統廃合や公共施設と共用化すべきでない。④本町学園第二グラ

ウンド複合施設(仮称)基本計画(案)は住民参加で再検討を。本町幼稚園は存続を。

**区長** ①国の動きに沿って推進。③統廃合や共用ありきで進めてはいない。④パブリックコメント等で広く意見を募る。

**教育長** ①きめ細かな指導体制と教育環境整備のためと認識。②活用は学習改善や指導改善を図るもの。④区立幼稚園全体の適正配置等を検討。

### 保育について

**問** ①直ちに認可保育園を増設すべき。②保育士に賃金助成と慰労金支給を。③国に面積と保育士配置基準の改善を求め、区独自に引上げを。

**区長** ①考えはない。②区独自に行う考えはない。③国に求めず、区独自の考えもない。

### 議会情報公開・個人情報保護実施状況

#### 情報公開関係

(令和2年12月1日～令和3年3月31日)

請求件数	2件
文書件数	2件
公開件数	1件
非公開件数(不存在)	1件

#### 個人情報保護関係

(令和2年12月1日～令和3年3月31日)

請求件数	0件
------	----

### お知らせ

#### 会派役員の交替

(令和3年4月1日)

渋谷区議会自由民主党議員団

・副幹事長(政調会長)  
一柳 直宏 議員

・会計幹事  
斉藤 貴之 議員

# 予算特別委員会審査概要

令和三年度各会計予算四件は、二月二十六日に設置した予算特別委員会(全議員三十四人で構成、委員長・斎藤竜一議員、副委員長・神園麻智子議員)に付託し、四つの分科会に分かれ審査しました。

一般会計予算及び国民健康保険事業会計予算は、修正案が提出されましたが、採決の結果、修正案を否決し、四件とも原案のとおり可決することに多数をもって決定しました。

予算特別委員会の各分科会での主な指摘事項は次のとおりです。

## 総務分科会

▼各種定例相談については、コロナ感染症の拡大や民間WEB相談サービスの充実等の影響により相談件数が減少傾向にあるため、資料確認が不可欠な相談等を除き、各委託先と相談、調整の上、オンラインや電話による非来庁型相談の体制整備を積極的に図りたい。

▼経常的経費の削減額に基づき委託料を支払うコンサル業務委託については、分析の結果に基づいて所管と調整を進めることで、行政サービスの低下させない新たな視点によるサービスの提供が可能となるよう図りたい。

▼防災備蓄品については、生活用品やオムツなどの衛生用品についても、入替えのタイミングで必要な人に無償配布するなど、有効に活用されたい。

## 文教分科会

▼新島村との交流事業については、区民と村民との交流を重視した未来につながる事業とすることを強く求める。

▼地域で育つ中学校職場体験学習については、コロナ禍において、地域での実施に限定せず、S・S・A・P協定企業の協力やタブレット端末の活用なども研究されたい。

▼ワンダフル給食プロジェクトについては、創意工夫により、残菜が無くなるよう研究されたい。また、家庭でもつくれるよう、ホームページ等につくり方動画の公開や、親子調理実習の実施等を検討されたい。

▼コミュニティサイクル運営

▼文化財保護については、説明板へのQRコードの設置を進めるとともに、全ての有形無形文化財について更なる多言語対応を検討し、今後とも適切に管理されたい。

## 福祉保健分科会

▼高齢者デジタルデバイス解消事業については、着実に情報格差解消を進めるとともに、ネット詐欺等の被害に遭わないよう、高齢者の視点に立った適切な対策を実施されたい。

▼高齢者補聴器購入費助成事業については、高齢者を支える立場の地域包括支援センターや、ケアマネジャー、民生委員に対しても、丁寧に周知されたい。

▼神宮前三丁目障がい者施設は、区民待望の施設であり、医療的ケア等、開設後の運営に不可欠な要素を的確に把握するため、自立支援協議会との連携を強化されたい。

▼新型コロナウイルス感染症対策事業については、国や都の対応を待つのではなく、区独自で可能な方策も取り、新型コロナウイルス感染拡大の防止に努められたい。



▶予算特別委員会表決の様子



# 委員会の活動状況

令和2年12月12日、令和3年3月25日

## 常任委員会

### 総務委員会

▼今年度の防災点検の日における事業計画は、新型コロナウイルス感染症拡大により避難所一斉点検や緊急医療救護所参集点検等を中止するとの報告を受けました。

▼工事が完了した恵比寿西二丁目複合施設（仮称）と高齢者ケアセンター跡地複合施設（仮称）の視察を行いました。

▼区民意識調査実施結果については、喫煙ルール等設問項目を、回答者が理解できる工夫をすることを要望しました。

▼スマートシティ推進事業について報告を受けました。産官学民が連携し、データを利活用することで、区民生活の質が向上することを期待する



▶恵比寿西二丁目複合施設（仮称）視察

とともに、人材育成に力を注ぐよう求めました。

▼少子高齢化や区税の減収に対応する一般建物施設長寿命化計画の報告を受けました。

### 区民環境委員会

▼区内飲食店の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための支援事業について報告を受けました。商店会連合会と連携し、区内飲食店にアクリル板やCO<sub>2</sub>測定器等感染症対策セットを無償配付するものです。申込みが予定数を超えた場合には、新年度での対応も検討するよう要望しました。

▼電動キックボード実証実験への参加について報告を受けました。違法な電動キックボード対策として、啓発活動を行うとともに、警察に取締りを要請するよう求めました。

▼恵比寿西二丁目住宅の現地視察を行い、区営住宅の開設及び入居者募集結果について報告を受けました。集会所に設置した火災報知設備等がみだりに触れられないよう注意するとともに、集会所の地域開放の検討を要望しました。

### 文教委員会

▼恵比寿西二丁目複合施設に本年四月に開園した「茶々だいかんやま保育園」を視察しました。複合施設であること

から、高齢者等との交流のある保育の実施を提案しました。

▼食文化を学び将来にわたり健全な食生活を送る食育の機会とする「渋谷ワンダフル給食プロジェクト」について、思い出に残るメニューの研究や、家庭にレシピを紹介する等の対応を求めました。

▼公益財団法人渋谷区美術振興財団を改組し、松濤美術館と白根記念郷土博物館・文学館の運営を一体化するとの報告を受けました。所蔵品等を活用し、区民に親しまれる文化・芸術の発信を求めました。

▼新成人を祝う会の実施結果報告を受け、コロナ禍でも対象者の意向をくみ、安全に実施できたことを評価しました。



▶茶々だいかんやま保育園視察

### 福祉保健委員会

▼区民を対象とする新型コロナウィルスワクチン接種について報告を受けました。二月にはワクチン接種の基本的な

事業設計について、三月には国によるワクチン供給の見通しや区の接種体制の予定について聴取しました。円滑な事前予約体制の運営、出張所等窓口との情報共有、案内文に図絵を用いるなど高齢者に配慮した周知等を求めました。

▼渋谷区自殺対策計画について報告を受けました。ゲートキーパーの養成や、計画を推進していく会議体との連携、支援に繋がるわかりやすい相談体制の構築を要望しました。

▼国土交通省の担当者を招き、「羽田空港の機能強化に係る懇談会」を開催しました。新型コロナウイルスの影響により新飛行経路で大幅な減便が生じていること、広尾中学校での常時騒音測定のほか、A滑走路着陸経路直下の渋谷本町学園で短期騒音測定を実施したこと、及び住民向けチラシを各戸配布することなどについて説明を受けました。

また、区役所十五階スペース428等で開催された、TOKYO2020に向け、パラアスリートやパラ卓球のアートを紹介した展示会「一歩、いっば、未来（まへ）へ」展については、会期終了後も区のホームページにオンライン展示しているとの報告を受けました。

## 議会運営委員会

▼二月二十四日、第一回渋谷区議会定例会が招集されました。

当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、渋谷区新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定など条例十二件、令和二年度一般会計補正予算一件、令和三年度一般会計及び三特別会計の当初予算四件、神宮前三丁目障がい者施設の

指定管理者の指定一件、教育長の任命の同意一件、人権擁護委員の候補者の諮問三件を提出するとの説明を聴取しました。

▼当委員会は、この説明を踏まえ、定例会の会期及び日程について協議し、会期を三月二十五日までの三十日間とし、また、当初予算の審査のため予算特別委員会を設置することなどを決定しました。

## 特別委員会

### 自治権確立特別委員会

▼十二月十七日、今年度開設した江戸川区児童相談所を視察しました。子どもの命を必ず守るという強い信念のもと行政だけでなく、地域と一丸となった取組や入所の子どもたちに配慮した部屋配置等の工夫、職員を養成するための研修等、学ぶべきことが多々ありました。区が独自に児童相談所を開設したことで、多くのメリットがあったとの所

長の発言が印象的でした。

▼二月十二日、特別区人事・厚生事務組合運営の渋谷寮を視察しました。就労による自立と社会生活への復帰を支援する施設であるため、情報収集に欠かせない資料等を、食堂兼娯楽室等共有スペースに充実させるよう要望しました。

▼児童相談所と子ども家庭支援センターの連携について報告を受けました。

### 交通・公有地問題特別委員会

▼担当部局より、令和二年度オリンピック・パラリンピック推進事業の進捗について報告を受けました。ふるさと納



▶国土交通省との懇談会

### 五輪・パラリンピック対策特別委員会

▼三月には、渋谷区男女平等および多様性社会に関する意識調査について報告を受けました。調査の分析結果を活かし、多様性社会の推進に向けて、地域社会全体で取り組んでいくよう求めました。

### 多様性社会推進特別委員会

▼男女平等・ダイバーシティ推進担当から、左記のとおり報告を受けました。

▼二月には、渋谷区パートナーシップ証明の現状について報告を受けました。委員からは、渋谷区パートナーシップ証明書取得助成金による交付件数への影響について質疑がありました。また、渋谷区パートナーシップ証明制度の特集記事を掲載した、しぶや区ニュース令和二年十一月十五日号が、令和二年度東京都広報コンクルールの広報紙部門で最優秀賞を受賞したと報告がありました。

税を活用した選手支援については目標金額を達成し、フェンシング日本代表選手の強化合宿及び遠征費用、車いすラグビー競技用車いす（ラグ車）の購入費用にそれぞれ活用するとの報告を受けました。寄付者の気持ちに応え、結果の報告まで丁寧に行うことを求めました。



# 予算に対する各会派の意見

構成人数が3人以上の会派

## 賛成 渋谷区議会自由民主党議員団

新型コロナウイルス感染症対策と、福祉・子育て教育・まちづくりなど未来を見据えた予算編成を評価

令和3年度当初予算は、区民の安全・安心を守るため、ワクチン接種体制の整備など新型コロナウイルス感染症対策を最優先としながら、子育て・教育環境の整備や超高齢社会への対応、防災、まちづくり、公共施設等の老朽化対策など、持続可能な未来を見据えた編成になっています。主な施策として、ICTに不慣れな高齢者等にスマートフォンを貸与して情報格差が生じないようにする「デジタルデバйд解消事業」が開始されます。また、地域福祉の中核を担う「恵比寿西二丁目複合施設」や「渋谷区かなみの杜・渋谷」、さらに子育て支援の拠点として「渋谷区子育てネウボラ」が順次開設されることで福祉・子育て環境の充実を図ります。

まちづくりでは、美観や安全を損なう落書き対策として、所有者からの依頼を受けて区が直接消去する体制を整備する他、神宮前三丁目障がい者施設や渋谷本町学園第二グラウンド複合施設の建設、千駄ヶ谷区民会館の建て替えがスタートします。教育施策では、最新の教育ICT基盤のもとオンライン教育などの充実を図り、多様な教育データを活用し児童生徒一人一人の個性や力量に応じた「個別最適な学び」に取り組みます。

コロナ禍の影響により、特別区民税等の減収が予想されるなか、未来を見据えた的確な行財政運営が行われるよう、自民党議員団は全力で取り組むことをお約束して令和3年度予算に賛成します。

## 賛成 渋谷区議会公明党

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、子育て支援・福祉等が充実された予算編成を高く評価

令和3年度予算については、コロナ禍の影響により、特別区税は約33億円の減収を見込んでいますが、基金を効果的に活用するなど、区政を停滞させることなく、更なる充実が図られています。

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制の確保をはじめ、介護施設及び障がい者施設利用者等PCR検査事業、全区立図書館への図書消毒機設置、中小企業への資金融資支援継続のための利子補給基金の設置等、約33億円を計上します。

子育て支援においては、我が会派が推進してきた「渋谷区子育てネウボラ」の拠点となる神南分庁舎跡地複合施設（仮称）が8月に、いよいよ開設します。また、4月に保育園の定員を413人拡大し、これにより、待機児童が限りなくゼロに近づきます。

区民福祉では、我が会派が早くから取り組んできた、高齢者の情報取得格差解消にむけたスマートフォンの無償貸与と、支援員によるきめ細かい操作・活用講座などを開催する「高齢者デジタルデバйд解消事業」が実施されます。また、これまで整備を進めてきた「恵比寿西二丁目複合施設」、「かなみの杜・渋谷」の両施設が開設します。防災対策として災害情報配信サービスが開始されるほか、環境対策として落書き対策が強化されます。

今後も渋谷区議会公明党は、一層の区民福祉向上のため全力で取り組む事をお誓いし、予算に賛成いたします。

## 賛成 シブヤを笑顔にする会

新型コロナウイルス対策等の緊急課題に対応しつつ区民福祉の増進を止めない未来志向の予算編成を評価

令和3年度当初予算は緊急課題への対応とともに新たな生活様式を踏まえた成長投資が重視されています。子育て支援では、待機児童対策として認可保育所5園の新設等により413人の定員拡大。子育てネウボラ拠点施設も本年夏にオープン。切れ目のない子育て環境を整えます。教育では、通信環境の改善や教育ビッグデータ、デジタル教科書が導入され、ICT教育の可能性がさらに広がります。高齢者福祉ではデジタルデバйд解消事業が始まり、緊急時の情報伝達など、情報格差をなくし交流手段を広げます。5月には高齢者ケアセンター跡地に「かなみの杜・渋谷」が開設。福祉の複合施設として地域で高齢者が繋がる役割も担います。区内初の重症心身障がい児・者のための施設を神宮前三丁目に着工。通所サービス、短期入所、相談支援、災害時避難所等、中核施設を目指します。健康分野ではワクチン接種体制の整備やPCRセンターの運営によって万全の感染症対策を講じます。環境では落書き問い合わせセンターが開設。通報の受付から消去までの手続きを一元的に行い、徹底的な対応を行います。まちづくりについては、玉川上水旧水路緑道の再整備と西参道の整備も行い、魅力的なコミュニティ空間を育み、区民の暮らしを豊かにします。

シブヤを笑顔にする会は、誰もが笑顔で暮らせる渋谷区を実現するために全力であらゆる区政課題に取り組んでまいります。

## 賛成 立憲民主党渋谷

安心・安全なデジタル活用システムの構築を目指し、ポストコロナ時代に向けた行政サービスの質の向上を

令和3年度当初予算は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一般会計予算総額は前年度比5.5%減の994億4,900万円となりました。随所にデジタル技術を駆使し、ポストコロナ時代に向けた新たな日常の確立と、区民生活の質の向上に重点を置いています。スマートシティ推進事業では、変化する地域課題に迅速に対応するためのデータ分析と利活用計画を策定し、課題解決と政策立案へつなぐ取組が始まります。高齢者デジタルデバйд解消事業として、65歳以上の方々に3,000台のスマートフォンを貸与し、合わせてデジタル活用支援員制度を創設して相談員を育成します。中小企業資金融資利子補給、空き店舗活用事業、おいしい渋谷プロジェクト、補助金・助成金自動診断システムの導入、キャッシュレス推進事業など中小企業支援を評価します。廃プラスチック等の資源回収啓発事業予算については、大きな事業転換であり区民に詳細かつ丁寧な説明が必要だと指摘します。保育施設5園の新設等413人の拡充で待機児童解消に近づいた事を評価します。ICT教育ではビッグデータの活用が進められ、個々の児童・生徒に対応した指導の取組が始まります。特別養護老人ホームを含む、かなみの杜・渋谷、恵比寿西二丁目複合施設が開設されます。引き続き、適切な施設整備を要望してまいります。立憲民主党渋谷は、多様性を認め合い支え合う社会の実現に邁進します。

## 反対 日本共産党渋谷区議会議員団

不十分なコロナ対策や国保料値上げ、大企業奉仕の逆立ち予算に反対する一方、介護保険料値下げには賛成

介護保険料は、初めてすえ置きと低所得者の引き下げを実現しました。区民の声と共産党の提案が、区政を動かしました。

2021年度一般会計予算は、コロナ禍のもとでPCR検査の拡大や区民、医療機関、中小業者などへの給付や支援が強く求められているのに、区独自の対策はほとんどありません。

待機児童や待機者が深刻なのに認可保育園・特養ホームの整備ゼロ、17年連続の国民健康保険料引き上げ、区独自の介護サービス削減など、負担増と福祉の切捨てを強行しています。小中学校の35人学級や学校給食の無償化には背を向けています。

一方、東急中心の渋谷駅周辺再開発などに、新年度は17億2,400万円を投入。美竹第二分庁舎と区立美竹公園を定期借地で営利企業に提供。渋谷をグローバル拠点都市にする事業に1億円も投入し、大企業奉仕とグローバル化に突き進んでいます。さらに河津保養所に1億2,304万円のムダづかいなど、区民福祉増進の役割を投げ捨てる予算です。

党区議団は予算修正案を提案し、PCR検査の抜本的拡大、低所得者への給付金などコロナ対策の強化や国保料の値下げ、認可保育園・特養ホームの増設をめざします。1,119億円の基金を活用し、いのち・くらし・福祉最優先の予算に変え、自治体本来の役割を発揮する区政へと転換するために力を尽くします。

## 選挙管理委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴い、2月24日の本会議で選挙が行われ、次の各氏が当選しました。任期は令和3年3月31日から令和7年3月30日までです。

### ●選挙管理委員

武山 富士子（たけやま ふじこ）氏	千駄ヶ谷在住
大澤 禎子（おおさわ ていこ）氏	広尾在住
廣瀬 誠（ひろせ まこと）氏	広尾在住
小山 美津枝（こやま みつえ）氏	本町在住

### ●選挙管理委員補充員及び順序

①岩下 哲哉（いわした てつや）氏	千駄ヶ谷在住
②上田 晋（うえだ すすむ）氏	恵比寿在住
③古川 斗記男（ふるかわ ときお）氏	笹塚在住
④櫻井 悌子（さくらい ていこ）氏	幡ヶ谷在住

なお、3月31日に行われた選挙管理委員協議で、廣瀬 誠氏が選挙管理委員会委員長に、大澤 禎子氏が副委員長に就任されました。



		◆議員提出議案 ◇委員会提出議案									
令和3年第1回定例会／議案等の概要と結果		自由民主党	シブヤ笑顔	公明党	立憲民主党	日本共産党	れいわ渋谷	その他 (議席番号順)	無所属	無所属	結果 ○賛成 ×反対
件名	概要										
渋谷区教育委員会教育長の任命の同意について	五十嵐 俊子（いがらし としこ）氏 八王子市南大沢五丁目在住	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
人権擁護委員の候補者について	高橋 千善（たかはし ちよし）氏 南平台町在住	○	○	○	○	○	○	○	○		支障ない旨 答申
人権擁護委員の候補者について	阿部 澄子（あべ すみこ）氏 神宮前一丁目在住	○	○	○	○	○	○	○	○		支障ない旨 答申
人権擁護委員の候補者について	中嶋 正樹（なかじま まさき）氏 本町四丁目在住	○	○	○	○	○	○	○	○		支障ない旨 答申
渋谷区組織条例の一部を改正する条例	1 スポーツ部の新設及び分掌事務の移管 2 関係条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○		可決
渋谷区手数料条例の一部を改正する条例	1 食品衛生法の一部改正に伴う関係手数料の再編 2 東京都食品製造業等取締条例の廃止に伴う関係手数料の廃止 3 建築基準法の一部改正に伴う許可申請手数料の追加等 4 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に伴う規定の整備 5 渋谷区印鑑条例の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	1 派遣先団体の名称変更 2 関係条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	パートタイム会計年度任用職員の超過勤務手当に相当する報酬に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症の定義に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
渋谷区財産価格審議会条例（制定）	1 渋谷区財産価格審議会の設置 2 関係条例の一部改正	○	○	○	×	×	×	○	○		可決
渋谷区新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例（制定）	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金の設置	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
渋谷区印鑑条例の一部を改正する条例	多機能端末機に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例	1 保険料率の改定 2 保険料の減額に係る規定の整備	○	○	○	○	×	×	○	○		可決
渋谷区手話言語への理解の促進及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例（制定）	1 基本理念 2 区の責務並びに区民及び事業者の役割 3 施策の推進	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
渋谷区介護保険条例の一部を改正する条例	1 保険料率の改定 2 保険料率の算定に関する基準の特例の整備	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
渋谷区指定地域密着型サービス事業等の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	指定認知症対応型共同生活介護事業所等の共同生活住居の数に係る規定の削除	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和2年度渋谷区一般会計補正予算（第9号）	補正金額 427,220 千円 繰越明許費の補正 債務負担行為の補正	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和3年度渋谷区一般会計予算	予算額 99,449,000 千円	○	○	○	○	×	×	○	○		可決
令和3年度渋谷区国民健康保険事業会計予算	予算額 23,988,501 千円	○	○	○	○	×	×	○	○		可決
令和3年度渋谷区介護保険事業会計予算	予算額 15,593,066 千円	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和3年度渋谷区後期高齢者医療事業会計予算	予算額 5,977,330 千円	○	○	○	○	×	○	○	○		可決
神宮前三丁目障がい者施設の指定管理者の指定について	管理を行わせる施設の名称 神宮前三丁目障がい者施設 指定管理者となる団体の名称 社会福祉法人睦月会 指定の期間 令和6年12月1日から令和11年3月31日まで	○	○	○	○	×	○	○	○		可決
◆渋谷区公契約条例の一部を改正する条例	労働条件を向上させるため改正	×	×	×	○	○	×	○	×		否決
◆渋谷区立河津さくらの里しぶや条例を廃止する条例	河津さくらの里しぶやを廃止するため	×	×	×	×	○	○	×	×		否決
◆渋谷区特別区税条例の一部を改正する条例	減免制度の拡充を図り区民生活を支援するため改正	×	×	×	○	○	×	×	×		否決
◆渋谷区高齢者の医療費の助成に関する条例（制定）	高齢者の医療費の負担軽減を図るため制定	×	×	×	×	○	×	×	×		否決
◆渋谷区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	心身障害者の生活の向上を図るため改正	×	×	×	×	○	×	○	×		否決
◆認知症の人と家族にやさしいまちしぶや条例（制定）	全ての区民が認知症とともに生きる希望を持って暮らすことができる渋谷をつくるため制定	×	×	×	○	○	×	○	×		否決
◇渋谷区議会委員会条例の一部を改正する条例	常任委員会の所管に関する規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
75歳以上の医療費窓口負担2割化の撤回を国に求める意見書の提出を求める請願		×	×	×	○	○	○	×	×		不採択
認可保育園を増設し待機児童の解消を求める請願		×	×	×	×	○	○	○	×		不採択
渋谷区の責任において安全・安心な保育の実現を求める請願		×	×	×	○	○	○	○	×		不採択
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守ることを求める意見書を国に提出することを求める請願		×	×	×	○	○	○	×	×		不採択
選択的夫婦別姓制度に関する審議を求める意見書		○	○	○	○	○	×	○	×		決定

お知らせ

●議員の住所変更

橋本 侑樹 議員（令和3年3月2日）

新住所

 笹塚2-41-6 アボリアスコート  
笹塚ウエスト1-301

編集後記

今回は、第1回定例会の内容をお知らせしました。  
今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。  
皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

区議会事務局調査係

TEL 3463-1096

FAX 5458-4939

メールアドレス  
div-kugikai@shibuya.tokyo